



# 株式会社菅原組

社内報

vol. 24

2021年9月号



工事本部 工事部員

# 高山 隆寛

**今回は工事本部で活躍されている高山さんにお話を伺いました！入社のかげや、初めて規模の大きな工事を担当した時の印象的なエピソードなど必見の内容です！**

## 入社のきっかけ

6年前に入社しました。きっかけは当社起重機船の乗組員が幼稚園から高校までの同級生で、紹介されました。私は大学卒業を機に東京の建築会社に就職しましたが、結婚し子供が生まれことで地元「松前町」に戻ることを望んでいました。そんな時同級生に勧められ業種は違いますが「やってみよう!!」と転職しました。

## 業務内容

現場の施工管理です。昨年度は江良漁港の既設構造物の修繕工事等を担当しました。ドローンやトータルステーション等のICT技術を活用し、施工管理を行っています。ICTでは経年劣化の状況や座標を測ったりと、あらゆる分野で活躍します。

## 記憶に残る仕事

昨年のケーソン港湾工事で計画から施工・完成までを担当したときです。経験のあ

る工事の中でも大規模な工事だったため、記憶に残っております。ケーソン据付と港湾施設工事をひとつの発注工事で関わることは少なく、入社間もない私にとっては貴重な経験でした。また、ウトロで類似工事が行われていて、協力会社の計らいにより事前に施工状況・工法を実際に確認でき、外から俯瞰的に見ることにより大きな糧となりました。自分の施工計画がほぼ思い通りに出来、楽しかったのと達成感で良い経験となりました。

## 今後の目標

建築と土木は似ているようで異なるもので、建築を前職で経験した身としては、土木にはないエッセンスを加えられることが目標



▲大島漁港工事ブロック散水養生



▲ケーソン中詰工



▲ケーソン回航

です。何を加えたいかはまだ明確ではないのですが、まずはその模索から始めていきたいと思っています。

# CHECK! 現場レポート

7月より始まった「福島漁港外1港護岸改良その他工事」!  
コロナ禍や熱中症にも気をつけながら作業を進めているそうです。  
今回の社内報ではその詳細を伺いました!



▲江良漁港 南防波堤 取壊し状況

工事本部工事部 係長  
作業所長  
さわや たかひろ  
澤谷 高広さん



**現場名** 福島漁港外1港護岸改良その他工事

## 概要

福島漁港では、地元漁師の方たちの就労環境改善を図るため物揚げ場の整備、そして越波防止を図るための護岸の嵩上げ及び波浪、流水のエネルギーを吸収、分散させる六脚ブロックの製作を行っています。  
江良漁港では、港口からの進入波の抑制を防止するため、波除堤の嵩上げと蓄養施設の能力向上を図るため、防波堤の取壊しを行っています。

**着工日** 2021年7月12日

## メンバー

ひらの まさと  
工事係 平野 聖人さん  
まつだ なおと  
工事係 松田 直斗さん

**完成予定日** 2022年2月14日

## 作業に当たり気をつけているポイント

最優先として考えていることは事故を起こさないよう、安全に作業することです。作業自体は起重機船やクレーン等の重機を使用することが多いことから、吊作業時の合図や声掛けの徹底、重機作業範囲の立ち入り禁止の措置等を行ったりして安全作業に努めています。また熱中症による災害も考えられたため、熱中症対策として現場休憩所に冷蔵庫やエアコンなどを設置し、少しでも快適に過ごしてもらえようという対策を行っています。

今年も去年同様新型コロナウイルスの感染が収まらない状況の中での作業ということで、検温室の設置やマスク、アルコール消毒などの設置も行い、毎日作業開始前に現場に入場する方への体温測定を行い体調管理にも十分気を付けて現場を進めています。



▲江良漁港 波除堤上部



## 今後の懸念点について

現在当現場では福島漁港と江良漁港の2か所で同時施工を行っているため、職員三人が揃って業務を行うということがなかなかできず、そのため様々な調整等が大変だと感じています。職員同士の情報を共有するため密に連絡をとりお互いの状況を把握するように努めています。

また、ブロック製作において天候に左右されることが多く、

雨が降ると作業を中止せざるを得ないので、雨の日が続くと少しブルーな気持ちになってしまいます。ただ相手は自然ですので前もって天候や様々なトラブルなどを想定して行ってきたいと思います。



▲福島漁港 ブロック製作状況

## 社員の皆様へのメッセージ

どんな時でもまず健康が第一だと思います。そのためにはしっかり睡眠と食事をとってください。これから夏から秋へと季節が変わり少しずつ気温が下がり始めてきますので体調管理をしっかり行い、日々頑張ってください!

松前町

# 折戸浜海岸 清掃 レポート

**日時** 令和3年7月17日(土)午前10時～

**集合場所** 折戸浜駐車場

**清掃場所** 折戸浜海岸 砂浜 約400m

**使用機械** タイヤショベル1台、4tダンプ1台、2tダンプ1台

**回収実績** 流木：4tダンプ4台分

漂着ゴミ：2tダンプ2台分 4tダンプ1台  
トンバック5袋+α

(通常ボランティア袋30～40くらい)※回収量は目測です。

**参加者**

菅原組：泉さん、小林さん、菅原峻さん、東さん、新谷さん、山田洋人さん、長内さん、水澤さん、松田浩平さん、石戸さん、鈴木さん、小平さん、澤谷さん、福原さん、中嶋さん、高山さん、児玉さん、竹内さん、平野さん、小笠原さん、村越さん、米内さん、松田直斗さん、堂高さん、赤塚さん

松前町役場：6名

松前さくら漁業協同組合：5名

ドローンで撮影した  
集合写真



## 当日のようす

観光資源にもなる景観の美しい道立自然公園に指定されている場所であるにもかかわらず、海岸に流木やゴミが散乱している状況を、現場への通勤時に見ていた社員から清掃活動を実施しないかという打診があり、松前支店と環境課共同で実施に動きました。

また、町内業者で以前行った実績がありましたが、しばらく実施されていないということもあり、町役場や漁協の皆さんからも協力をいただけることとなりました。



タイヤショベルを利用し、波打ち際に近い所にある流木を除去(写真1)、風で飛ばされたりして草むらに集積したごみは、人海戦術で集めました(写真2)。

流木も相当量あり、4tダンプで4回集積しましたが、まだ残っている状態で、拾って歩いたゴミも、草の中に埋もれていたりしてなかなか回収しにくい状況でした。

天候もよく、相当厳しい状況下でしたが、コロナ対策・熱中症対策を実施しつつ、清掃活動をいたしました。

# こんな活動、知ってた!?! 社会貢献活動レポート

日時 2021年7月16日(金) 13:20~15:30  
参加人数 北海道七飯高等学校2年生 4名  
場所 本社

## フィールドスタディプログラムとは?

身近にある企業や、住んでいる地域の経済圏を「リアルな教材」として、「地域企業が抱える課題」に焦点を当てたインターンシッププログラムのこと。

高校生はこのプログラムを通じて、自身のキャリアを考えながら、地域社会や企業について知ることができるとともに、地域への関わり方を自分事として考えることが出来る。これにより、将来的な地域の発展や、地域企業への人材の流れを作ることが期待できるプログラムとなっている。

## 活動を 終えての 感想

七飯高校さんは去年まではインターンシップとして職場体験をしていたようですが、今年はインターンシップをやめて、フィールドスタディに参加しているそうです。

フィールドスタディの趣旨として、当日必ずお話しするポイント4点を事前に(株)マイナビさんからいただいていたので下記の4点を中心にお話しました。

1. 企業プロフィール
2. 主な取引先に関して(どのような業種や企業と取引があるのか)
3. 企業が取り組む社会課題(人々のお困りごと)に対して
4. 社会と学びの繋がりについて

3の「企業・業界が取り組む社会問題」については、ちょうど前日に菅原組でも「SDGs宣言」を行っていたので、SDGsの話も交えながら、働き方改革についての取り組みや、環境保全・地域貢献活動を積極的に行っていることをお話しました。仕事以外の場においても地域の皆様に親しまれるよう、住民の方とともに地域づくりをしているということを生徒さんには知っていただけたと思います。

## ★北海道七飯高等学校 フィールドスタディ

管理本部

成田いくみさんと三浦 杏香さんに聞きました!



## 次回に 向けて

実際に現場見学できる時間を取ることは難しいので、次回はリモートで現場担当者の話を聞いたり、現場の様子を生徒さんに見ていただくなど計画中です。

今回が2回目のフィールドスタディとなりましたが、毎回同じ内容ではなく、生徒さんに建設業についてより興味をもていただけるような時間になるよう試行錯誤しながら次回の準備を進めていきたいです。



## 最後に

何か一つでも心に残り、今後の学習の励みや進路選択に役立ててもらえたら嬉しいです。

# 交通安全街頭啓発 活動レポート

★旗の波運動を実施しました!

実施日 7月13～22日「夏の交通安全運動」期間  
 実施場所 北浜町8番付近 国道227号線沿い  
 参加者 菅原組20名、  
 北浜スポーツ少年団14名+保護者様6名、  
 北浜町会6名を含む 総勢60名



コロナ禍で人との接触を減らすよう考え  
 短い時間で安全運転を呼びかけました。

皆さんも、くれぐれも

安全運転に

心がけてください!



## HAPPY BIRTHDAY TO YOU!

10月生まれの皆さんをご紹介します。

10/9 工事本部工事部 課長  
 しんや ゆうじ  
 新谷 裕治さん

10/10 管理本部  
 (しらゆり甲板員)  
 くどう たかお  
 工藤 隆雄さん

10/10 工事本部工務部 主任  
 (第十すがわら丸船長)  
 かわい ひろや  
 川合 裕也さん

10/11 工事本部工務部  
 (第十八すがわら号)  
 ふじた ただお  
 藤田 忠夫さん

10/16 工事本部工務部  
 (第十すがわら号)  
 みやきた しゆん  
 宮北 隼さん

10/19 管理本部松前支店  
 養殖事業担当  
 ささむら まさし  
 笹村 正志さん

10/20 工事本部工事部員  
 あかつか ふうが  
 赤塚 風雅さん

10/24 工事本部工事部 係長  
 さわや たかひろ  
 澤谷 高広さん

10/28 管理本部安全課長  
 はなだ きいち  
 花田 喜一さん

## ミになるコラム

# 冷え性から 身体を守ろう！

暑い日が続く、エアコンを一日中、一晩中オンにしている方は多いと思います。しかし、この長時間のエアコン使用、冷たい飲み物や食べ物などにより、体温の低下や血行不良を起こす人が多く見られます。

9月は季節の変わり目です。夏の疲れが溜まっているだけでなく、昼夜の気温変化も激しくなります。この時期は「冷え」による体調不良を防ぐために、しっかりと体調の管理をしていく必要があります。

9月という新しい季節を迎えるにあたり、気温や体調に変化が現れるでしょう。特に自律神経の乱れや血行不良による冷え性は、皆さんの健康に大きく影響します。今回の記事では冷え性になるメカニズムと、冷え性予防の方法についてご紹介します！



## コロナ禍での冷え性予防

女性の約7割、男性の約3割が冷え性に悩んでいると言われており、新型コロナウイルスの自粛生活で多くの方の筋力が低下しています。筋肉は身体を温めるために大きな役割を果たしているため、運動不足から筋力が低下し冷えやすい身体になってしまっていることが考えら

れます。つまり筋力が低下すると、身体の体温維持能力が低下して冷え性になりやすくなります。さらに平熱がたったの一度違うだけで免疫力に約30%も差が出ると言われており、日頃から運動習慣・生活習慣が身体を守る上で重要なのです！

## 健康を取り戻すために

### 生活面での心得

首、手、足から冷えるので、いつまでも夏用の寝具・パジャマは使わないように注意しましょう。エアコンの使用は暑い日だけにし、外部との温度差は5度以内に設定温度も高めにしていきましょう。そして運動をすることも忘れてはいけません。ウォーキングやストレッチなど軽い運動を心がけ、ぬるめの湯でゆっくりと半身浴をして、体を芯から温めましょう。そして十分な睡眠をとりましょう。



### 食事の心得

栄養バランスのとれた献立を考え、身体を内側から温める食材を選んでいきましょう。身体を温める食材としては、ニンジン、カボチャ、ダイコン、カブなどの根菜類、ヤマイモ、サトイモ、サツマイモなどの芋類、シソ、ショウガ、ニンニク、ネギ、タマネギなどの薬味野菜が効果的です。さらに牛肉や豚肉など、疲労回復力をアップさせるビタミンやミネラル、抗酸化物質、酵素、良質なたんぱく質が豊富な食材と一緒に食べるようにしましょう。